

令和2年度 新ひのお台幼稚園 自己評価

| Keep(うまくいったこと、継続したいこと) | Problem(課題、問題点) | Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策) |
|--|--|---|
| <p>低年齢児なので説明する際や、トラブルの仲裁に入る時はできるだけわかりやく丁寧な言葉を使って伝えるように心掛けたことで、子ども達は理解力がましていったように思う</p> | <p>クラスで月齢が違うので、もう少しクラスに合った出来る事を見つけて楽しい保育を考えていきたい。</p> | <p>今までよりもっと子ども中心の保育、クラス全体をひとまとまりでなく、子ども一人ひとりに合う楽しさを見つけてあげたい。そのためには大切な事は残しておきながらも今までの固定概念やすべき事内容を無くしていこうと思う</p> |
| <p>○音楽参観の時のダンスの一部、並び方など、自由を取り入れた。ひとりひとりが自分で考えて動いて欲しかったので… ○2学期後半より横割り保育をして、月齢の差をうめていくことをとりいれた。(子供達同士で刺激し合い成長して欲しいのが)</p> <p>・2歳児は月齢で成長差大きくみられるので、週案で立てる目標を学年で統一するのではなく、クラス別に変えた。これにより、子どもの月齢に応じた目標を立てやすくなり、無理をさせることなく1つずつクリアしていったように思う。</p> <p>・隔日で登園するので、まずは園生活に慣れるということを中心に置き、それを基準として一年間通しての目標に設定した。これにより、ほとんどの身支度は自身の力でできるように成長したように思う。 また、少しでも安心した場所、楽しい空間と思えるように、できるだけ寄り添って接していけるように配慮した。</p> <p>・多くの子ども達は、誕生日がくると満3歳児クラスに移動になるので、担任全員で子どもの些細な情報でも、全てことを共有するようにしていた。自由時間や戸外あそびなどでも、クラスの分け隔てをなくして子ども同士や担任外の先生と関わりを持てるようにしていた。 それにより、誕生日を迎えた子どもがクラスが変わって自分のクラスにやってきても、情報を全て持っているの、困ったり対応が遅れるようなこともほとんどなく、スムーズに受け入れられ</p> | <p>○月齢の差がある為、それぞれのクラスの成長に見合った保育内容をする事。(今まではみんな同じ内容のカリキュラムだった)</p> <p>・少人数で過ごすため、自主的に何かをする前についつい手助けをしてしまいがちであった。 また、先生からの声掛けばかりが入ってしまい、子ども同士の刺激が少なく、幼い月齢の子どもだけでは、学べる事が限られてしまいがちである。</p> | <p>○ランチルームのスペースの有効利用。コーナー遊びが出来る環境を作り、子供達が遊びを選べる様にしたい。(いつもこちらが遊びを与えている為) ○音楽参観の楽器を、自分で手作りする。</p> <p>・他のクラスとの合同保育を増やしていき、子ども同士の広がりを進めていきたい。 ・少し早い段階で『仲良しデー』の実施と回数を増やせるように先生同士で週案をたてて、少人数だからこそ劣ってしまう部分を補っていけるようにしたい。</p> |
| <p>色々な言葉がけをし、お話が少なかった子供もたくさん話せるようになったこと。</p> | <p>二学期に入り、トイレトレーニングを、少し見直していきたいとおもいます。 それぞれの子供にあった方法で行えていけたらと思います。</p> | <p>2、3歳にあった、ゲームや手遊びうた、あそびを色々調べて挑戦する。</p> |
| <p>①歌唱指導をしても反応がなかったり担任1人のワンマンショーになっていたが、手遊びや、歌って読み進めていく絵本を毎日取り入れていくと少しずつ歌い出す子が増え、みんなで歌う楽しさを習慣づけた。 ②先生方と子どもたちの成長を報告し合う。 担任全員で休憩をとる事で、情報交換をする機会ができて、一息入れなが色々話せるのは一日の振り返りにもなり、とても良い習慣だと思った。</p> | <p>①1人で身の回りの事ができない子に手がかかる。 ②加配を必要とする子どもに対しての距離感。どこまで許すべきか。(2歳児の学年では無理強いしたり、厳しい指導はしたくない。)</p> | <p>①来年度も2歳児は月齢でのクラス分けなので、早い時期から仲良しdayなど、他クラスとの交流を増やして良い刺激を沢山もらえる環境を作る。 ②おもちゃが充実してきたので、月齢に合った物を月々に出して行く。 子どもたちで遊び方の発展ができるように1年を通して遊べる物も準備しておく。 ③ランチルームの有効活用法を考える。</p> |

令和2年度 新ひのお台幼稚園 自己評価

| Keep(うまくいったこと、継続したいこと) | Problem(課題、問題点) | Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策) |
|--|---|---|
| <p>私自身が子どもにマイナスな言葉を言われるのが嫌なので、自分が子どもたちにプラスの言葉を言うことで、子どもたちも、私が「今から〇〇するよ！」と伝えたときに、「えー。」とか、嫌がる言葉をほとんど聞かず、むしろなんでも「やったー！！」と楽しんでくれたことです。</p> | <p>子どもたちだけでも解決できそうなことを、大人が介入しないと謝らなかつたり、いいよって言えなかつたりといった、本当に小さなトラブルが3学期から多く見受けたので、もっと子どもたちにどうすればいいのかを話して伝えていけば良かったなと思いました。</p> | <p>子どもたちの成長を見守りつつ、先生たちのフォロー等もしていきたいなと思います。</p> |
| <p>・今年は一人一人個性が強いクラスだったので、クラスをまとめていくのに、最初はすごく苦戦しました。けれど、まずは子ども一人一人の性格を諦めずに私自身が理解し、成長段階を考えながら、保育することで、子どもたちがイキイキと自分らしさを出しながら楽しめるようにしてきました。</p> <p>・行事に向けては、子どもたちが目標を持って頑張れるように声かけしてきた。毎日小さな目標を子どもたちに伝えて、達成できるようにお稽古をただ普通にではなく、始める前にお話をし、毎日目標を伝えてきた。最後にはその目標を達成出来たときにはクラス全体で喜び合い達成出来なかった時には次は頑張ろうと皆んなで話し合いクラス全体で目標を目指すようにしてきた。そうすることで、クラス一丸となれたように思う。</p> | <p>・待ち時間を手遊び等で過ごしてきたが少し飽きてきている。</p> <p>・支援の必要がある子どもの理解。</p> <p>・大人に対してお話が苦手な子どもに対して、一年で完全に心を開いてもらう事が出来なかった。最初はなかなか言葉を発しはくれなかったが、少しずつ話し掛けるようになっていました。そしたら自分の思いを伝えてくれるようになったが保護者の方から聞く家での雰囲気までは子ども同士では見られるようになつたが、担任との会話の中では引き出してあげる事が出来なかった。</p> | <p>・制作や絵画の完成にかかる時間の個人差があり、早く終わった子たちの待ち時間が少し長いことが多かったので、私なりに、待ち時間を楽しめるように手遊びで工夫してきたつもりでしたが、最近少し飽きてきているよう感じたので、少し簡単なゲームなどを取り入れてみれば良かったなと感じています。</p> |

令和2年度 新ひのお台幼稚園 自己評価

| Keep(うまくいったこと、継続したいこと) | Problem(課題、問題点) | Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策) |
|--|--|---|
| <p>切り替えがなかなか出来ない、集中力が短いところがひよこ組の大きな課題でした。</p> <p>そこで私は切り替えができるように朝の会で今日やることを伝えることにしました。また活動の合間のトイレの時なども流れるように行くのではなくみんなトイレに行くことでメリハリをつけました。すると子どもたちは活動ごとに切り替えが少し出来るようになったと思います。</p> <p>他のことに気を取られ話を聞けない子がたくさんひよこ組のお友達にはいたので、話をする前に「まみ先生どこだ」と声をかけてから時間をかけて視線がこちらを向くまで待ちました。それから話を始めると子どもたちがしっかり話を聞いてくれたように思います。</p> <p>また集中力が短いところもあったので、集中が切れてきたなと思ったら休憩を入れたり、合奏する時はその楽器の前まで私が動き指揮を大きくする、話をする時は面白いアクションをするなどアクションを大きくすることで子どもたちの集中を向けられるようにしました。</p> <p>これらをして話も聞いていない子はおり、指示が通りにくいところも課題であったので、用意するものがある時はホワイトボードに絵で書いたり写真のカードを使い、子どもたちが分かりやすいように伝えていました。この方法をとった時は「ホワイトボード見て用意してね」「ひらがな読めるお友達は読めなくて困ってる子に教えてあげてね」「お友達にも伝えてあげてね」と声をかけていたのですが、「〇〇と〇〇用意するやって」とお友達同士で話して用意する様子が見受けられお友達同士で助け合っていたように思います。</p> <p>自分のやりたいことが出来ないとお癪を起こしてしまう子も居る中で、なかなか友達関係を築くのが難しいようでしたが、うがいに行く・シールを貼るなどの私がいつも声をかけていることを時々お友達にも声をかけてもらいました。すると私が声をか</p> | <p>このクラスは1人になったりお友達の中に入れていないという子はいなかったのですが、自分中心すぎる子がすごく多く、自分の思い通りにならないと「ふーん！」と怒ってしまったり、自分が正しいという思いが強すぎてお友達を傷つけてしまう子が多かったです。</p> <p>毎日そのようなことは起こるのですが、その時は必ずきちんと向き合っ一対一で話をしたり相手の立場になって考えられるように声をかけていたのですが、どうしてもそのようなお友達を納得させることは難しく職員室に行くことが多かったです。またその子たちは何度も同じことをしてしまっって同じことで叱っており響いていなかったです。私が響く伝え方が出来ればと思うのですが、どのようにすればその子たちに響くのかは未だに分らないままです。</p> <p>保育をする中で初めての担任ということと声かけをする子が多すぎるという現状に苦しみ全く余裕がなく、子どもたちのことを冷静に見れなかったこともありました。もっと子どもたちのために出来ることがあったのではと思います。</p> | <p>子どもたちに響く伝え方については、分かっているもやっしてまう子が多いのでこれからもその都度伝えていくと同時に分かっているのにその時に納得出来ない子には『1度離れてみる、やってみたらと提案する、すごく構う』など様々な方法をとりその子に合う方法を探していきたいと思ひます。私だけが伝えるのではなく職員室の先生や他の先生にも協力していただき子どもがいけないことなんだと気づけるようにしたいです。</p> <p>全く余裕がなかった点については、まだまだ分からないことはたくさんありますが、この1年の経験を活かし先のことを考へて保育することで余裕を持てたらと思ひます。</p> <p>やりたいことは子どもたちと一緒に作り上げる保育です。子どもたちの話や意見を聞きながら保育することで子どもたちの意欲も増すと思ひますし、意見を聞いてもらえた、採用されたという経験は子どもたちの自信にも繋がると思ひます。また発言したことを受け止めることで子どもたちが認めてもらえたという経験から自己肯定感が高まればと思ひます。これだけで自己肯定感が高まるとは思ひませんが、自己肯定感が高いことは周りに優しく出来ると思ひます。高い目標だとは思ひますが、少しずつでも出来るようになりたいです。</p> <p>この1年大変なことも多かったです、個性豊かすぎる子どもたちのおかげで毎日笑い、楽しかったです。</p> |
| <p>細かなことでも保護者に伝えるように心掛けていて、安心しましたと言ってもらえることがあったのでこれからも信頼を築いていけるように連絡をこまめにすることを続けていきたいと思ひました。</p> <p>出来るだけ子どもにおうちでの出来事を聞くなどコミュニケー</p> | <p>何度も同じことを注意されている子どもに、状況をしっかり見れていないのに話を聞かずにやめると否定的になってしまうことがあったので、これからはよく注意を受ける子どもでも、また悪さをしたと決めつけていきなり注意するのではなく、意図をきくことが課題だと</p> | <p>今までより早めに指示を出すことを心がけていきます。余裕を持つことでしっかり話を聞く事にも繋がると思ひるので意識していきたいです。</p> |

令和2年度 新ひのお台幼稚園 自己評価

| Keep(うまくいったこと、継続したいこと) | Problem(課題、問題点) | Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策) |
|---|--|--|
| <p>子どもたちが笑うことや笑顔が多いクラスになりました。去年よりは発言など強弱をつけれるようになったり、手遊びのレパートリーが増えたり、絵本の読み聞かせが好きになったり、自分自身も成長でき、どうやったら子どもたちが楽しめるかわかるようになってきました。</p> <p>いつも大きな活動だけではなく、ちょっとした活動前にも細かく、なにをするのか流れを伝えることで子どもたちも見通しが持てて、活動に集中できたり、オンオフが上手になったかなと思います。</p> | <p>よく喋る事と、あんま喋らなかつた子がいるので、最近喋って「この子ってこんなこと知ってるんだ」と気づくこともあって、自分からあまり話してこない子には、もっと前からわたしから話してその子を知ろうとしていたら良かったなと思いました。</p> | <p>子どもたちといろいろな会話をして楽しく過ごしていきたいです。どうしても年少は、生活面や友達面の基本的なことで叱ることも多かったのですが、悪いことは悪いと伝えつつ、子どもたちの良い面にかくさん気づけるようにしていきたいです。</p> |
| <p>私自身が、皆んなで力を合わせる事、みんなで気持ちを合わせる事がどれだけ大切か、をずっと伝えてきたので、皆んなで団結して様々な行事に取り組みました。今後もずっと継続して、いきたいです。</p> | <p>私は、もっともっと深く一人一人の子どもと向き合っていきたいです。 その子に対して、どのような対応をしたらいいか考えることで頭がいっぱいになることありました。 そんな時でも、色々な先生方に支えてもらいながら向き合っていきたいと思います。</p> | <p>(挑戦し続けていくこと) 私は、これから生きていく上で生涯大切なこと、子どもたちに大切にしてほしいことを、全力で伝えていくことです！ そして、1人1人の子どもたちとしっかりと向き合う。1人で抱えこまないで、沢山の先生に話を聞いてもらったり、アドバイスをもらったりと溜め込まないことです！</p> |
| <p>お部屋の中で落とし物やロッカーから出た荷物、溢れているお茶を見て見ぬふりする子が多かったが、どうしたら綺麗なお部屋で過ごせるかを一緒に考えたり、実際に子どもたちの前で落ちているスモック等をかけたりして見せた。また、給食後の机の上やまわりの大きな食べこぼしを自分たちで綺麗にするよう促してきた。すると、お部屋だけでなくどこでも落ちている物や溢れているものに気づいたら言いに来るようになったり、子どもたちで協力して拭いたりと優しい気持ちを持った相手を思い合える(助け合える)クラスになった。</p> | <p>集中力や落ち着きが無くすぐにおしゃべりをしてしまうことが問題点である。物事を始める前に長く楽しめるように期待を持てる話をしたり導入をしてきたが、すぐに違うことに目が行き飽きるのが早かった。子どもの食いつきに合わせて導入の長さを変えたり、物事の時間を変えたりした。</p> | <p>年長さんで本格的にするリレーやドッジボールを年中のもう少し前から始めたい！また、子どもたちに“身体を使って遊ぶ”楽しさを教えられることをしたい！ 1種類だけでなく、2種類ぐらい野菜もしくは果物を育てて簡単な食育がしたい！</p> |
| <p>常に子どもに問いかける保育、子どもファーストを心掛けてきた。今後も子ども主体の保育は、子どものやりたい気持ちやアイデア、子どもの意欲を引き出すと考える。</p> | <p>クラスの子も達全員が、問いかける保育や一斉指示が通るわけではないので、個別指示が必要なことも視野に入れながら、すすめていくことが必須であった。また、絵画が進まない子ども、給食がすすまない子などには、活動一つひとつの切り替えの時、子どもになぜ今これをしてはいけないのか、なぜこうしないといけないのかという意味や概念を子ども達に毎回話すことを、常に念頭に入れた保育を行ってきた。</p> | <p>子ども主体の保育、子どもファーストの保育を今後も続けていきたい。あくまでも、子どもが主体であることを常に忘れてはいけない。子どもの人権を尊重し、あくまでもひとりの人間であることを常に念頭に入れた保育をするには、保育者の感情や主導で振り回さないように心掛けていくことが必要である。</p> |
| <p>・発表会なども子どもの意見を聞いて振りなどを考えることで、音楽会でも、積極的に意見を言ったり、ダンスの振り付けを言ってくれる子が多くなり、子どもが積極的になった。 ・子どもたちにやりたいことあったらなんでも言ってねということで、紙飛行機やあやとりがブームになって自分たちで遊びを考えるのが上手くなった。</p> | <p>・学年だよりのアンケートをとっている時に「屋上プールやりたかった、来年はできるかな？」と楽しみにしている子が多く、それに代わる水遊びや楽しさを考えられなかったと感じた。</p> | <p>・引き続き子どもの意見を聞いて、クラスのみんなで考えて一緒に行事などを楽しんでいきたい。 ・コロナ禍のなかで子どもたちが楽しみにしていることは、配慮しつつ出来るだけ実行してあげたい。</p> |

令和2年度 新ひのお台幼稚園 自己評価

| Keep(うまくいったこと、継続したいこと) | Problem(課題、問題点) | Try(新たに挑戦したい事、課題や問題点の解決策) |
|---|---|--|
| <p>・子ども達に聞かれたことはその時わからなくても後でも周りの先生達に聞いてしっかり伝えることができました。</p> <p>・時間がなくてほんの少しの時間でもお外遊びにいくようにした。</p> <p>・子ども同士が悪いところばかり発見することが多かったので良いところを見つけてお帰りの会で発表するようにしたら、悪いところをあまり言わなくなったので帰りの会の時続けたい</p> <p>・何でもすぐに答えを言ったり、私が勝手に決めたりするので</p> | <p>・着替えに時間かかる子やちょっと気になる子にもっと序盤の頃からもっと関わって出来ることを増やして出来たことに喜びを感じられるようにしたらよかった。</p> <p>・物がなくなったってなってもすぐ見えたのでそのままにすることがあったけれどそれが何回かあったのを気づかなかった</p> | <p>・年長2年目になり気持ちも落ち着くと思うので初めから1人でも多くの子供とたくさん関わっていきたい。</p> <p>・物がなくなったとすぐに見つかることがあっても何回も続くようであれば、早いうちに子どもの話をしっかり聞いて対応する。</p> |
| <p>元気で子供らしくとってパワーがあるクラスだったので、今までの自分の保育の仕方や声掛けではまともじゃなかった。その為、クラスにあった保育や声掛けの方法を今まで以上に深く考えるようになり、保育や声掛けのレパートリーが増えた。どんな方法を試してみても、子どもたちに響かずクラスがまともじゃなくて悩むことも多かった。しかし、子どもたちにもっと寄り添ってどう言うふうに伝えたら子どもたちももっと理解してくれるかをより考えるとクラスがまとまるようになった。自分の今までの保育で子どもたちを染めていくのではなく、その時のクラスカラーや子どもたちの個性を理解して、クラスにあった保育ができるようになった。</p> <p>クラスがなかなかまとまらない時は、年長なのにどうして考えてることができないんだろうと思うこともあったが、子どもたちと過ごして、子どもらしいところがこのクラスの良いところ！と思えるようになった。うまくいかないこともあったけど先生としてい</p> | <p>今まではクラスをまとめるのに時間はかからず、悩んだりすることもなかったが今年はずごく時間がかかった。発想や考え方が子どもらしいところが、クラスの良いところだったが、そのことに気付かず、それがこのクラスの悪いところで直さなければいけないと思っていた。集中することできない、話を聞くこともできない、自分たちで考えることできない、喧嘩ばかりする、と悪いところばかり目につき良いところを見つけることができなかった。悪いところばかりに目がいきそのため叱ってしまうことも多かったので子どもたちも、伸び伸び過ごすことができなかったように思う。なので余計クラスをまとめることに時間がかかった。</p> | <p>他のクラスは出来てるのに、なんで自分のクラスはできないんだろう？と思うことが多く、その分良いところもたくさんあるはずなのにクラスの悪い部分ばかり目について良いところを見つけることも出来なかった。しかし、悪いところも悪いところばかりではなく、考え方を変えれば良いところにもなるなど考えられるようになった。</p> <p>クラスの良さを一番感じその良さを伸ばしてあげられるのは、担任だと思うので、悪いところばかりに目を向けるのではなく、考え方をたくさん変えてみて良いところを見つけ伸ばしていこうと思う。</p> |
| <p>発表会の曲を、自分たちで決めたことがきっかけで、自分たちで話し合って決める事が増えた。でも、活発に意見を言える子がいつも中心になってしまうので、出来るだけ全員の意見が聞けるよう、こちらから声をかけるようにした。急に聞かれて、なかなか答えられない事もあるので、初めの頃は事前に知らせ考えてくるようにした。</p> <p>常に、自分のする事を考えて行動するよう言葉がけてきた。こうしたらどうなるか、見通しを持って行動するよう促してきた。</p> | <p>一年かけて、嫌なことはその時に相手に伝える、自分が嫌な事は相手にもしないと言うことを伝えてきた。なかなか言えず、担任に言いにくる事が多かったので、自分の思いを相手に伝えることの大切さを伝えていきたい。</p> | <p>年齢にあった保育をしたい。</p> |
| <p>とにかく褒める 子どもより楽しむ 子どもと同じくらい頑張る</p> | <p>クラス子ども達の現状をしっかり捉えられてなくて目標、理想の設定が高すぎて、結果自分の首を絞めて頑張ってる子どもたちを認めてあげられない時があった。</p> <p>自分に余裕が無くなると、空回りしたり子どもたちに寄り添えなくなる。</p> | <p>現状をしっかりとらえた上で、どういう順序を踏んでどうやって成長していける様に…とクラスにあった関わりができる様になりたい。</p> <p>子どもたち、クラスの特性を理解して柔軟に大らかに関われる様に余裕を持って過ごせる様に心がける。</p> |
| <p>・どんな時でもしっかり子どもの話を聞く ・子どもたちで考えて動けるよう声かけをする</p> | <p>もっと子どもの意見を聞いて保育してもよかった</p> | <p>違う立場でがんばります</p> |